

BIND

Vol.27

RENEWAL

2022.04.01



Close Up Interview

つげ せ しん た ろ う
工事部 告瀬 慎太郎

特別コラム

ダイニッセイへようこそ! 新入社員紹介

タムス瑞江病院新築計画

「週休二日制度」導入から1年が経過。

今、ダイニッセイが

「取り組むべき課題」とは

Evolution Project レポート

株式会社ダイニッセイで、工事部に所属する告瀬慎太郎。入社以来、現場一筋で経験を積み、現在はサブリーダーとして、多くの職人たちをまとめ、手腕を振るっている。周囲の信頼も厚い告瀬に、これまでで印象に残った経験や仕事に対する思いについて話を聞いた。

雰囲気の良いさに引かれて

現在、有望な若手として実力を発揮している告瀬は、高校卒業後の2011年に入社した。就職活動時期、学校に多くの求人が集まる中で、目に留まったのはダイニッセイの求人票。もともと、体力を使う仕事にも興味があった上、都会での暮らしに憧れを抱いていたこともあり、心引かれて選考に臨んだところ、とても良い雰囲気、ますます入社したい思いが募ったという。

晴れてダイニッセイの一員となった後は、必死になって仕事を覚えたが、初めの頃は肉体的にも大変なときが多かった。扱う鉄筋は想像以上に重たく、1日を終えて部屋に戻った際には、腕に力が入らずドアノブすら回せない有様。同

期と励まし合いながら奮闘した日々は、懐かしい思い出だという。

初めての職長。一步を踏み出す

その後、現場での業務を必死でこなしていくうちに、職人として一通りの技能は身に付いた。仕事振りが認められ、2年前に初めて職長を任せてもらった。嬉しい反面、すぐに職長の責任の重さを思い知った。

それまで先輩職長の下で、自分の役割を果たしていたが、たとえ小さな現場でも、職長となればやらなければならない仕事の量も質も違ってくる。全体の段取りを指揮し、必要なものを全て揃え、搬入に対して決定を下す。現場の一切を取り仕切る長として奔走し、気を配る毎日を体験した。

初めて手掛けた工事は忘れられない。鉄骨平屋の倉庫を2棟建てる工事で、不安はあったが、とにかく事故だけは起こさないよう、細心の注意を払って仕事に臨んだ。そして思いの外スムーズに事が運めることができた。現場では、工期の遅れ

工事部

つげ せ しん た ろう

告瀬 慎太郎





や思わぬトラブルなどが発生する場合も少なくないが、そういった問題もなく、無事に工事を終えることができたのだ。

「これが自分の職長としての初仕事だと周囲が知っていたこともあり、先輩方には随分と助けてもらいました」。

知識や経験が足りずに戸惑う場面もあったが、心配して見に来てくれた先輩にアドバイスをもらうなど、多くの仲間のサポートを受けて、1つの工事をやり遂げたのである。

リーダーとしての心構え

このようにして、職長として学んだ点はいくつもあるが、常に意識しているのが、「即断即決」だ。現場では、問題が生じた際に速やかに判断できなければ、そこで作業が止まり時間のロスをまねいてしまう。一方、再開を急ぐあまり曖昧なまま進めてしまえば、後々のやり直しにつながりかねないため、慎重を期する必要がある。

現場は1つとして同じものではなく、似ていても工事のやり方や進める順番は異なるため、あらゆる場面をスムーズに回すためには、膨大な知識を蓄積しておかなくてはならない。それゆえ勉強は怠らず、現場には先入観を持たずに入り、手順を間違える恐れがある箇所などをチェックしているのである。

目標に向かって

告瀬にとって今年はこの仕事に就いてまもなく10年を迎える節目の年となる。

「同じ鉄筋工事でも、場面によって作業が異なるため、それを見極めながら綺麗に完成させるのが大きなやり甲斐であり、達成感につながります」。

細部まで責任を持ってやり切ることを己に課している告瀬。真摯に仕事に取り組む姿を見せることで、若手に学んでほしいという思いもある。例えば、鉄筋の基本作業は、3～4年現場に出ているとある程度はできるようになるが、そこからの技術習得は本人次第。告瀬は若手の指導や技術向上にも力を入れたとともに、自身も己の技術に未だ満足しておらず、熟練の先輩たちを見習っているところだという。

今後の目標については、「まずは一人前の職長として認められること。そして、いずれは大きい現場を任されるようになりたい」と語る告瀬。現場は大きければ大きいほど大変だが、そこに挑戦していきたいという熱意を持っているのだ。覚えることは山積みで精進あるのみだが、負けず嫌いな性分も幸いし、この先も高みを目指すことには楽しみを覚えているという。告瀬の成長と活躍に、今後も注目したい。



BIND

告瀬 慎太郎さんって どんなひと？

普段一緒に働いているからこそ見える姿とは……？告瀬さんの後輩である伊藤さんと、上司である大山さんから率直な印象やメッセージを伺いました！



工事部
いとう まさひろ
伊藤 正浩さん

告瀬さんへ一言

これからどうぞ宜しくお願いします！

告瀬さんとは…

頼りになる優しい先輩

告瀬さんと一緒に仕事をするようになってから約半年ほど経ちますが、怒っているところを見たことがありません。どのような状況でも人に対して温厚に接している姿を尊敬しています。

忘れられない思い出

神奈川県平塚市の現場でのことです。現場への片道が約2時間と距離がとても離れているため、行きでは職長が運転し帰りは若手の運転で移動していました。私は帰りの運転担当だったのですが、帰りは時間帯によっては渋滞に巻き込まれ、到着までに2時間半かかることも……。そのようななか毎日1人で運転していたは大変だということで、告瀬さんが1日交代で運転しようと提案してくれたのです。現場作業が終わってからの長距離運転はなかなか辛いものがありましたが、「運転辛いね!」と言いながらも告瀬さんが一緒にがんばってくれたおかげで、乗り切ることができました。

告瀬さんの第一印象は？

優しくそうな人だなという印象でした。

実際に話してみても優しく、仕事のことで分からないことがあればすぐに教えてくれました。告瀬さんは同じ部署の先輩で2021年9月あたりからずっと一緒に仕事をしています。いつも優しく気遣いながら指導してくれるため、とても信頼しています。

告瀬さんとは…

現場にいてくれるとありがたい存在。

基本的な作業は誰よりもスピーディーですし、同世代の子たちに比べても真面目に取り組んでいる姿勢が印象的です！

告瀬さんへ一言

経験値は十分なので、あとは本人の気持ち次第。一皮剥いて頑張してほしい！

忘れられない思い出

最初は慣れない様子でしたが最近では頼もしくなってきました！

大林組の老人ホーム「クローバーのさと」の現場で初めて一緒に仕事をしました。告瀬くんが入社2～3年目の頃です。当時は材料の置き方をはじめ、一から十まで教えなければならず、まだまだ仕事に慣れていない印象でした。ただそれから大分経ち、最近では頼もしくなってきました。注意すると素直に顔に出てしまうところもありますが(笑)、あと一息で一人前になれるはずです！



工事部 職長
おおやま ちゆき
大山 智幸さん



新入社員の皆さん、ご入社おめでとうございます!

プライベートを深掘り!?

2022年4月に入社される、新入社員の阿賀嶺さんをご紹介します!ご自身の強みや、これからの意気込みを伺いました。



あ か みね しょう た
阿賀嶺 匠太さん

PROFILE

- 出身地:千葉県八千代市です。
- 血液型:O型
- 好きなこと:アニメ鑑賞、ゲーム、食べ歩き。
ゲームは、任天堂のスマッシュブラザーズをよくやります。また、最近は友人の勧めで、テラリウムも好きになりました。
- 苦手なもの:レバー。食べたときの感触と匂いが苦手です。
- 自分を動物に例えると:サイ
普段はおとなしいけれど、やるときはやる動物なので、自分に似ていると思いました。
- コロナが収束したら先輩社員とやってみたいこと:ボーリングです。私の友達が好きなので、コロナが収束し機会があれば先輩方とやりたいと思っています!

🔥 **これだけは誰にも負けない強み** 🔥

**趣味の多さは
誰にも負けません!**

私は友達の趣味を1度は必ず実行するからです。他人の好きなことを受け入れる積極性は、誰にも負けたいと思っています。すぐに実行する行動力も、自分の強みです。また、週に2~3日ボランティアに参加しており、そこで培ったコミュニケーション能力も仕事に活かしていきたいと思っています。

これからの意気込み!

私は図面が好きなので、そういった作業ができる部署にいつかは行きたいと考えています。しかし、まずは現場の仕事を把握することが、必須だと思いますので、安全第一で現場の業務を把握し、会社の人と円滑にコミュニケーションをとれる社員を目指します。大学の先行は建築系ではありませんが、遅れを取らないように頑張りますので、よろしくお願いいたします!



前号でご紹介した3名も入社予定です!
皆さん、ダイニッセイの仲間として温かく迎えましょう!



まつしま ひろ と
松島 大翔さん

出身高校:千葉県立市川工業高等学校
出身地:千葉県市川市



はやの こう き
早野 航輝さん

出身高校:千葉県立京葉工業高等学校
出身地:千葉県四街道市



かつまた る あ
勝股 琉亜さん

出身高校:千葉県立東総工業高等学校
出身地:千葉県旭市

／今までありがとうございました！／

退任者・退職者よりご挨拶

設立初期から長きに渡り、会社の成長に貢献してきた池田芳輝元専務取締役と、加工場の永井さん、前工場長の浜崎安則さん。これまでのご活躍や、今後の展望、社員の皆さんへのメッセージについて伺いました。

2022年1月より退任され

相談役として今後も活躍いただきます！

元専務取締役

現在：相談役（営業・工事担当）

いけ だ よし き

池田 芳輝さん



まだまだ頑張ります。ヨロシク！

今後の展望と、社員の皆さんへメッセージ

当社の品質、安全性、実力が多くの方に認められ、日本で一番の鉄筋工事会社と言われることを目指します。自分がやるべきことを確実に実行し、一人ひとりがレベルアップできるよう頑張っていきましょう。

これまでの経歴

1974年3月28日に、ダイニッセイへ入社。当時、大阪の建設会社で働いていたのですが、ニクソンショックとオイルショックの影響で倒産してしまい、新たな就職先を見つけるのに苦戦していました。そこに、兄である現在の会長から「会社の仕事を手伝ってほしい」と誘われ、ダイニッセイに入社をしたのです。そこから10数年、現場での経験を積んだ後、専務取締役に就任し33年ほど従事してきました。

これまで最も注力したこと

1つ目は、施工図面を使用した現場管理の仕組みを、体系化させたことです。以前は、鉄筋の施工図面は一般的ではなく、当時の社長がフリーハンドで書いたものを、私が正確な縮尺で図面として書き直し、それを元に現場を進めていました。今でこそ、図面を使用する形は当たり前ですが、何もなかったところから、新しい仕組みを作り上げていくことには、なかなか苦戦しました。

2つ目は、協力会社との信頼関係の構築です。人員が足りないときは、東京都、千葉県内の協力会社へ電話をかけ、一日で数百人の職人を集めたこともあります。会社へ直接挨拶にいくなどの礼節も重んじ、持ちつ持たれつ協力しあえる関係を作り上げていきました。



最も嬉しかったこと

ダイニッセイの若手社員が、会社の近くに家を建ててくれることです。この会社を信頼し、生涯この会社で働く決めてくれたんだな、と非常に嬉しく感じます。

2021年12月に退職されました。

長年ダイニッセイを支えてくださり
ありがとうございました！

加工場

なが い いわ お

永井 岩男さん



長い間、ありがとうございました。



会社設立からずっとダイニッセイにお世話になってきました。

69歳まで現場や加工場で働き、それからの3年間は寮の管理を任せていただき、社員のみんなが過ごしやすい環境づくりに努めて参りました。振り返ってみると、暑い中、寒い中でみんなと一緒に仕事をすることができたことが、何よりうれしい思い出となっています。これからは故郷の熊本県牛深(うしぶか)に帰りますが、ダイニッセイで過ごした楽しい出来事を忘れずに過ごしていきたいと思います。今まで大変お世話になりました。ありがとうございました。



▲長年共に過ごしてきた池田会長と。

2022年3月に退職されました。

長年ダイニッセイを支えてくださり
ありがとうございました！

前工場長

はま さき やす のり

浜崎 安則さん



みんなの成長を
楽しみにしています。
頑張れ！



これまでの経歴

ダイニッセイ設立当初から働いており、長年工場長として、その後は技術アドバイザーとして会社と共に過ごしてきました。工場長のときから担当していた図面の集計を引き続き行っていました。

これまで最も注力したこと

工場と現場の架け橋となるためのコミュニケーションです。現場の声に耳を傾け、要望に合わせて工場での仕事を調整していました。例えば、工場での仕事を終えても現場の職長を待ち、現場や工場のことを共有しお互いの状況を把握することで、仕事が円滑に進むよう意識していました。

成果を感じた仕事

各現場どれも全力投球で担当してきました。その中でも、東京ソラマチ、大田区総合体育館、新宿の国立国際医療センターなどは、多くの人々に利用され続ける施設ですので、達成感ややりがいを感じた現場でした。

社員の皆さんへメッセージ

一番伝えたいことは、皆で協力し合って頑張ってもらいたいということです。工場長、職長の言うことを守り、安全に、順調に仕事を進めてください。特に工場では、周囲の機械に注意しながらクレーンを動かすことを心がけましょう。私は3月で退職しますが、この先も皆で会社を盛り上げて、ダイニッセイが大きく成長していくのを楽しみにしています。

会社の未来への取り組み

工場では主に、若手を育ててより多くの仕事を任せられるよう取り組んできました。例えば、材料を色々な形に曲げて「こう曲げるんだよ」と実際に見せて教えることです。教え子だった若手は、今や工場長や副工場長などに成長し、中心となって活躍しています。

印象深い思い出

社員、現場、工場合わせて皆仲が良かったことです。会社のすぐ近くにある公園で、春にお花見をやって、さらに絆が深まっていくのを感じていました。20本程の桜の木の下で、役職や年齢関係なく、色々な話をした思い出はこの先も色褪せないでしょう。

「Evolution Project」

進化プロジェクト

2021年4月から始動した「週休二日制」について

これからの課題

業界に革命を起こすかのように取り入れた「週休二日制」の導入から1年が経過し、見えてきた大きなメリットと取り組むべき課題点。実際に体感していることやこれから持つべき意識について、前向きなお話を聞くことができました！



取締役
工事・営業部長
いけだ たかみつ
池田 孝満さん

社員の皆さんに取り組んでほしいこと

皆さんには今それぞれに立っている場所がありますが、そこからステップアップしていくためにどうすべきかを考え、向上心と希望を持って目標を立てて欲しいと思っています。そうすれば自ずと道が見えてくるはずです。皆さんの成長は会社の成長に繋がります。学びたいことがあれば、いつでもサポートしていく所存です。

会社として大きく変わった点

優先したいことを選択できる環境

他産業では当たり前の「週休二日制」。この業界では日程の調整が難しいこともあり、導入は画期的なことでしたが、当社としては貴重な人材を確保するために必要なアクションでした。従業員の皆さんからは、「日曜以外の平日のお休みを有効活用できるようになった」という声を多く聞きます。また、各自が休みたい日を調整することで、優先したいことを選択できるようになったことも大きいと感じています。

残されている課題

より生産性の向上を目指して

休日のローテーションを現場単位で上手く組むことや、休んでいる人の分をどうカバーするかが大きな課題です。例えば、6人の現場で毎日1人お休みの場合、5人で6人分の作業量をこなすには生産性を上げるしか方法がありません。これからはより効率の良い仕事が求められるでしょう。また、職長が休みを取りづらい環境も変えていく必要があります。そのためには、職長が不在の場合にサポートに入るサブリーダーなどの人材育成も欠かせません。万全の体制を整えてバックアップしていきたいと考えています。2021年に入社された方は制度導入後にあたりますが、新たな流れが好循環を生み、全従業員の成長へと繋がってくれたらと期待しています。



加工場
工場長
きたざき たかし
北崎 崇さん

大きく変わった点

心の余裕がモチベーションアップに

家族がいる方は一緒に過ごせる時間も増えたと聞きますし、趣味の時間にも当てられてモチベーションアップに繋がっていると感じています。自分が休みのときは、他の人が頑張っているという自覚も出てきたように思います。また、会社全体でこの制度を定着させようと動いていることもあり、皆で協力してサポートし合うようになりました。例えば、仕事量が多い時期はシフト自体を調整することもありますし、1日の仕事量でバランスを取ることもあります。世間的に休みが少ない業界と認知されていて敬遠されてきた部分もあると思いますが、採用面においても他産業と同じラインに立てたのではないのでしょうか。

残されている課題

一人ひとりが全体の仕事量を考えながら動く

工場は固定の人数で業務に取り組んでいるため、休む人の分はどうしてもカバーする必要があります。実際に、瞬間的に仕事が増えたときに人手不足になることがありました。これからは、一人ひとりが「自分ごと」として自覚を持ち、明日が忙しそうだなと思ったら今日の仕事量を調節するなど、積極的に行動して欲しいと思っています。工場長としては、エリア長だけでなく全員に浸透しているのか目を配ることに注力していきます。そしてきちんと休んでメリハリをつけ、行動で示していきたいと思っています。



工事部
総合職長
つる た やすし
鶴田 悌さん

大きく変わった点 **連携を意識して効率を上げる**

個人的には、休みの日に家族と近場に買い物に行ったり会話をする時間も増えたりして、一緒に過ごす時間を取ることができるようになり、嬉しく思っています。業務では、自分が休みの日のサポート人員にどう引き継いでいくのかを意識するようになりました。書面を使ったり、休みの前日に一緒に現場を回る時間を確保したりして、特に安全面と品質面に関しては念を押して引き継ぎを行っています。生産性に関しては、導入前よりも1時間就業時間が長くなっている分を上手く使って、より良い段取りを組んで効率を上げるよう努めています。チーム内の情報共有も積極的に行い、連携を大切にしながら業務に取り組んでいます。

残されている課題 **人材育成もより一層の強化を**

今は現場数に対して従業員数が少ないこともあり、どうしても1人あたりの仕事量が多くなってしまいます。この制度を維持していくためにも、人材を増やしていく必要性を感じます。人材育成も急務で、質問しやすい環境を作りサポート体制を整えていきたいと考えています。また、協力業者様にもカバーを要請する場面が出てきています。特に職長の私が休みのときに、サブリーダーがいない現場では現場管理をお願いすることもありますし、万が一トラブルが生じたときの対応なども確立していかなければなりません。制度をより浸透させ維持していくには、関わる全員の協力が必須だと感じています。



工事部
職長
みやはら まさとし
宮原 雅敏さん

大きく変わった点 **充実した休日を過ごすことができる**

休みが1日増えたことで身体を休める時間を1日取っても、もう1日で家族と過ごす時間や、自由に使える時間を確保できるのは大きいと感じています。大変なこともあります。皆良い方向に捉えていると思います。

残されている課題 **サブリーダーの育成が急務**

工程の調整がまず課題として挙げられます。各現場の工程も最初から週に2日休みを入れて組んでおかないと調整が難しく、また、現時点では職長は休みを取りづらい環境にあります。サブリーダーの育成を急がないと、現場が回らなくなってしまいます。後輩の指導には注力していますが成長するのに時間も必要です。日々積み重ねていき、より働きやすい環境を整えていく所存です。



工事部
職長
ういの かいと
宇井野 凱士さん

大きく変わった点 **家族からも嬉しい声**

2歳と産まれたばかりの子どもとの遊ぶ時間が増え、家族からも好評でした。まだ子どもが幼いため、どうしても休まなければならないときもあり、この休みを活用できることは有り難く思います。しかしその代わりに、休暇調整や休暇する分の生産性を向上させる必要性が出てきました。1人では実現できないため、周囲としっかりコミュニケーションを図ることを以前よりも意識するようになりました。

残されている課題 **業界全体の働き方改革推進が必要**

当社の取り組み自体が業界の中でも先進的なため、元請け業者と仕事を進めていく際に工期調整などのしづらさを感じることがあります。他の業者は休みも少なく、工期内での作業進捗を優先するため、当社側が休暇を調整することも少なくありません。この制度を浸透させるには、業界全体で推進する必要があると感じます。今できることは、まずは他の業者にも認知いただき、試してもらうことではないでしょうか。



DAINISAY BOARD!!

日々会社の中で行われる様々な取り組みや、イベント、トピックスをご紹介。コロナ禍におけるイベントや集会も当たり前となり、今年も会社方針説明会はリモートでの開催となりました。リモートでの開催だからと言って大切なスローガンや取り組むべき課題に対しての意識が下がらないよう、社内報でもしっかりとおさらいをいたしましょう!



2022年 会社方針説明会・安全祈願

「会社方針説明会」及び「安全祈願」が今年も開催されました。今年もコロナ禍での開催となり、少人数及びリモートで各人とモニターを繋いで行う形となりました。形式は変化しても会社として目指すべき未来は変わりません!

2022年1月29日(土)18時30分から開催
職長、リーダー、協力会社の皆さまは自宅や各拠点からリモート接続にて参加。



会社方針説明会の様子

2022年スローガン

やり抜く力で 強くなる!

今年一年は我慢の年になる。
稼働率は上がるが、
受注条件は厳しいまま。
情熱を持ち粘り強く目標を目指し、
本当の強さを!

取り組むべき課題

- 働き方改革、時代への対応
- 世代交代、若手人材の確保・育成
- 計画力・提案力・実行力の強化
- 目標達成率を高めるためにすべきこと

営業方針

- 技術と信用をコスト対応力につなげる

安心して働ける、
自信溢れる、
魅力ある会社に!

赤字部分は特に昨年と比べて変化した内容です!
今一度、課題と向き合い、どう乗り越えていくか、
一人ひとりが考え行動しましょう!



今年も安全祈願を 行ってきました

今年もコロナ感染対策の元、少人数にて執り行われました!

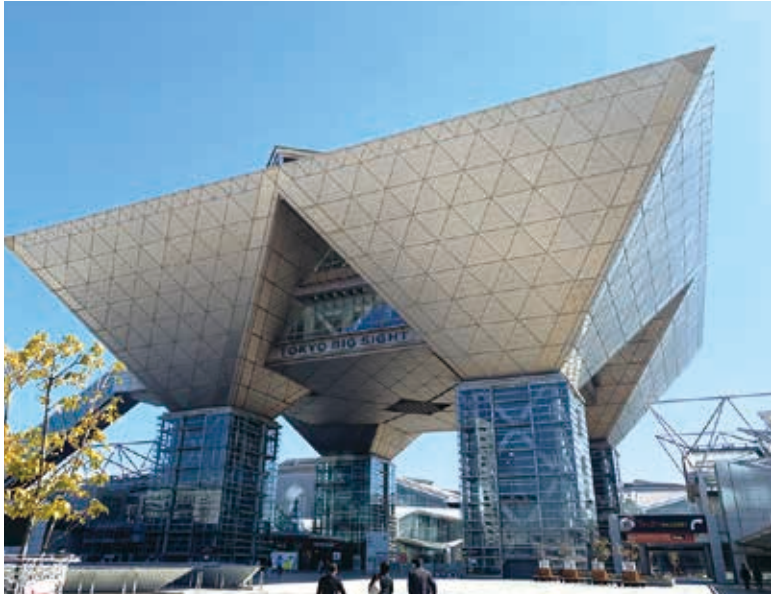


大宮神社にて

安全祈願の様子

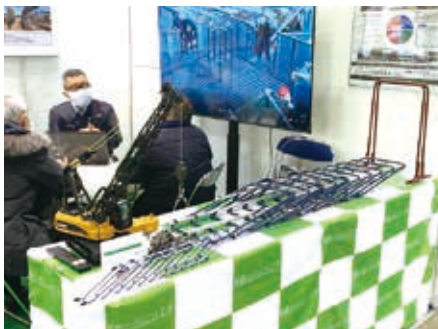
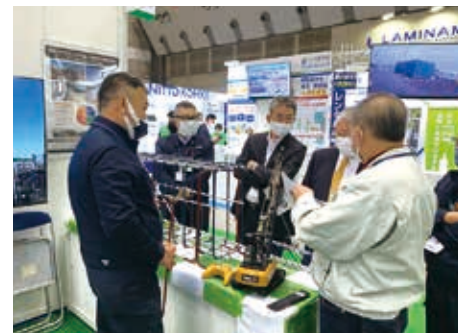
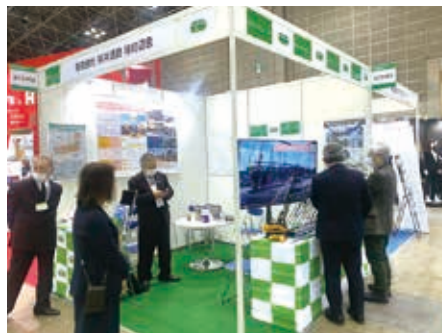
『東京ビッグサイト 建築建材展』出展について

東京ビッグサイトで2022年3月1日から4日間行われた「建築・建材展」。ダイニッセイも、ジャバラユニット工法特約店として参加協力いたしました。



参加の経緯

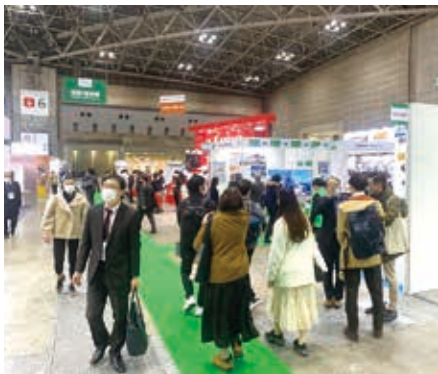
数年前まではジャバラユニット工法の発明者であり販売元の柳井通商さんが出展されていたのですが、それを引き継ぐという形で今回、参加協力することになりました。全国各地に特約店はありますが、関東地区での開催ということで、ダイニッセイからも伊藤さん、平子さんにも協力していただき、当社が主体となって準備を進めました。



当日の様子

東京ビッグサイトの会場全体では、1日1万人以上の来場があったようです。コロナ禍での開催でしたが、多くのお客さんに足を運んでいただくことができました。内装やソフトウェアといったおしゃれなブースが並ぶ中、日頃表に出ない鉄筋という地味なジャンルではあるものの、質素ながら良いブースで出展できたと思います。ジャバラユニット工法に興味を持ち訪れてくださった方には、しっかりと説明できましたし、必要であればプレゼンに伺いますのご案内することもできました。ゼネコンの方々は、ジャバラユニット工法を使用することによる、「現場の働き方改革」と「コスト面」という観点からも、特に興味を持ってくださいました。技術を集結することによって、ハードな建設業界の本質的な改善に貢献できるとお伝えできたと思います。

また、ジャバラユニット工法の紹介ツールとして可能性を感じたのは、近くのブースで紹介していた動画作成です。近所のブース同士で、お互いこういうことができるのではないかといいお話ができる、良い機会にもなりました。今後も毎年行われる「建築・建材展」にはこのような形で参加し、ジャバラユニット工法を広めていくと共に、様々な他の企業や業種とのお付き合いを増やしていきたいと考えています。



ダイニッセイの『**人事評価・賃金制度・週休二日制**』などの導入を始め、
様々な改革が建設通信新聞に掲載されました！

国民生活の安全と安心！ 支えるのは専門工事業

職人通信

インタビュー

人事評価・賃金制度を導入

人事評価の導入、完全週休2日の実施が若手社員に与える影響へと労働環境や意識の変化、改革を要する建設・事業のダイニッセイ（千葉県市川市、池田洋一社長）。若手職人の確保・育成に向けて人事評価・賃金制度を導入する、社員の意識の変化を追求する。また、労働環境も「建設キャリアアップシステム（CUCS）」のレベル4は希望のちからで、レベル4の中でも、会社に貢献する人への評価、評価を高める仕組みが会社で「土壌」する。社員ととくに若手財の成長につながる「土壌」として導入の経緯、若手財の成長について聞いた。

大卒者の採用、完全4週8休も



池田 洋一氏

若手人財の成長につなぐ

「若手財の成長につなぐ」は、ダイニッセイの経営戦略の中心にある。若手財の成長は、会社の成長につながる。ダイニッセイは、若手財の成長を促すために、人事評価・賃金制度を導入した。また、完全週休2日の実施も、若手財の成長を促すための施策の一つである。

ダイニッセイ社長 池田 洋一氏

「若手財の成長につなぐ」は、ダイニッセイの経営戦略の中心にある。若手財の成長は、会社の成長につながる。ダイニッセイは、若手財の成長を促すために、人事評価・賃金制度を導入した。また、完全週休2日の実施も、若手財の成長を促すための施策の一つである。

「若手財の成長につなぐ」は、ダイニッセイの経営戦略の中心にある。若手財の成長は、会社の成長につながる。ダイニッセイは、若手財の成長を促すために、人事評価・賃金制度を導入した。また、完全週休2日の実施も、若手財の成長を促すための施策の一つである。

次号予告

Vol.28

2022.07.01発行

えう
ご期待！

Close Up Interview

工部部

わたなべ たく や

渡邊 拓也さん

トピックス

- ・ダイニッセイへようこそ！
入社式レポート
- ・ダイニッセイの仲間達へ贈る言葉

えうご期待！